

3年 単元名「海の学習」(7時間)

1 単元設定の理由

学校の所在地は、宿毛佐伯フェリーや宿毛市営定期船航路(沖の島航路)があり、宿毛湾に面した宿毛市の海の玄関口である。近年、船舶の大型化に対する需要や、防災の対策として港湾工事も進められているが、本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見てみてもマリンレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者や親戚にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子もたちであるが、離島である沖の島や鶴来島へ行ったことや、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

2 単元目標

我が故郷、宿毛市の自然環境の素晴らしさを見て学んで体験することで、身近な里海としての宿毛湾の魅力を再発見するとともに、これからも自然環境の保全に努めることが必要であることを認識し、将来故郷を自慢に思い、他市町村や他県の人にも故郷宿毛市(離島や海の生物等含)のことを自信を持って紹介できる生徒を育成することができるように。また、成果の発表によって、全国の中学生に身近にある里海を再認識する機会となるように実施する。

3 単元の評価基準

- (1) 沖ノ島の自然環境について関心を持ち、意欲的に体験活動に参加することができる。
- (2) 講師の講話や体験活動を通して、故郷の離島(沖ノ島)やそのまわりの海の生物や自然環境について知り、自然環境保全のためにどのようなことができるか等、言葉や文章で表現できる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
6	<ul style="list-style-type: none">・ 沖ノ島の自然環境(動物や植物)について、外部講師の講話や説明を聴き取り、ワークシートに記入しながら島内を巡る。・ 久保浦海水浴場で、シュノーケリング体験を行う。	<ul style="list-style-type: none">・ 早朝から沖ノ島に船で移動するため、参加生徒の健康状態を十分把握する。・ 参加生徒の安全を確保するため、シュノーケリングベストを必ず着用させる。
1	<ul style="list-style-type: none">・ 講師の講話や説明、シュノーケリング体験について、振り返り・感想を書く。	<ul style="list-style-type: none">・ 「海の学習」で講師から聴いたことや、見たこと、体験したことから、豊かな自然環境をどのように保全していけばよいか等、感想で終わることのないようにする。
外部連携 / 教材等		
<ul style="list-style-type: none">・ 宿毛市立東中学校長：弘畑佳之さん・ 宿毛フェリー(沖ノ島巡航船)		